



氏名	竹之内信一（たけのうち しんいち）			
生年月	1962年12月			
出身地	群馬県利根郡昭和村			
就農年	1982年	生産地	昭和村川額(カワケ)	
栽培品目	レタス、キャベツ、ブロッコリー、とうもろこし、アスパラ、かき菜			
農業への思い	旬の野菜と農家の想いを、消費者に届けたい。			
プロフィール	<p>幼少時は引っ込み思案だったが、中学、高校時代の柔道を通じ忍耐力と自信を身につける。農業大学校へ進み、卒業前の研修で、多品目を栽培し年間を通して旬の野菜を出荷する経営を知る。実家はこんにやく主体だったが、帰郷後、野菜も手がけ市場出荷を始める。92年誘われて野菜くらぶに参加。しかし最初の出荷で自信のない野菜を出荷してしまい、大きなクレーム問題に。不良品や欠品が多方面に迷惑をかける契約栽培の厳しさを知る。「これを一人でやるのはとても無理。仲間がいるから責任を持って続けられる」と言う。そのお客さまとは現在も取引が続いている。「農業は地域」と地域づくりに心を砕く、取締役。</p>			

氏名	宮田徳彦（みやた なるひこ）			
生年月	1961年12月			
出身地	群馬県利根郡昭和村			
就農年	1979年	生産地	昭和村生越	
栽培品目	レタス、ほうれん草、小松菜、白菜、とうもろこし			
農業への思い	食べてくれる人は、家族。家族に食べさせたいものを、作りたい。			
プロフィール	<p>「本好き、活字中毒」(宮田)で1ヵ月で20冊という記録も。中学は柔道、高校は強豪の弓道部。中学生の時スキーでケガを負い、その時の救助隊員にあこがれ、高校卒業後、家業の農業を手伝いながら冬は苗場スキー場でアルバイト。1年の訓練ののち合格率5%で救助隊員に合格し、さらに2年「80kgの人を背負いストックなしでアイスバーンの急斜面を下る」厳しい訓練を経験。一方で有吉佐和子の「複合汚染」を読み、家族が食べられる野菜を作りたいと25歳の時に独立。首都圏の消費者に野菜を届ける組合を作る。96年、仲間とともに野菜くらぶに加入。友人から「この野菜、芸術品だね」と言われたことがある。現在、生産部長。</p>			